

診断結果レポート（保存版）

あなたのお子さんの
現在もっとも戻りやすい通常モードは

比較モード です



モードに「良い・悪い」はありません。

どのモードにも、心や行動を守る大切な役割があります。

ただし、モードによって学びの進みやすさには違いがあります。

そして、これらには成績が伸びやすくなる“流れ”があります。

学びが進みやすいモードの流れ



ポイント

多くの場合、安心 → 整理 → 挑戦 の流れで、
学びは進みやすくなります。

※ 状態は変化していきます。今は「比較モード」でも、環境や関わりによって変わっていきます。

6つのモード一覧表

それぞれのモードの特徴と、家庭で整えたい方向をまとめました。

お子さんの理解とサポートの参考にしてください。

モード	本来の役割	プラスに働く面	行き過ぎると…	家庭で整えたい方向
 挑戦 モード	前に進み 成長する	・難しいことに向かう ・工夫する ・やり直せる	無理しすぎる 突っ走る	結果よりプロセスの 努力を認める
 整理 モード	情報を整理して 理解する	・確認する ・分析する ・順番に考える	考えすぎる 慎重になりすぎる	急がせず 整理する時間を作る
 安心 モード	心と状態を 安定させる	・落ち着く ・受け入れる ・自然に続ける	変化を 避けやすい	否定より理解を 先にする
 比較 モード	自分の位置を 知り、成長に つなげる	・刺激を受ける ・改善点に気づく ・向上心が出る	周囲が気になる 勝ち負けに敏感 になる	他人比較より 成長比較を増やす
 守り モード	心を傷つきから 守る	・危険を避ける ・慎重になる ・無理を止める	言い訳 隠す 避ける 怒る	安心して失敗できる 雰囲気を増やす
 閉じ モード	エネルギーを 守り、回復する	・休む ・刺激を減らす ・消耗を止める	黙り込む 止まる やらなくなる	小さな成功体験を 増やす

大切なこと

どのモードも、お子さんが自分を守り、成長していくために必要な働きです。

中でも「安心→整理→挑戦」の流れをつくるのが、学びを進めるカギになります。

お子さんへのサポートポイント

あなたのお子さんの現在の状態は「**比較モード**」が中心です。

周りが気になりやすく、焦りやすい時期です。

小さな成功をつなげ、自分の成長に意識を向けられる関わりが大切です。

今の状態で起きやすいこと



- 周り比べて焦ったり、気になったりする
- できていることより、できていないことが気になる
- 負けると落ち込みやすく、イライラしやすい
- 結果を急ぎすぎて、視野が狭くなりやすい
- 刺激や評価に敏感で、気持ちが揺れやすい

家庭でできるサポート（おすすめ3つ）

1 自分の成長に目を向ける

他の子と比べるのではなく、昨日の自分と比べてみましょう。
「前よりできたね」「続けているね」と変化に注目します。



2 努力や過程を認めて伝える

結果だけでなく、取り組んだことや工夫したことを具体的に伝えましょう。「頑張って考えていたね」などが効果的です。



3 プレッシャーを減らす環境をつくる

評価や結果を急かさず、安心して取り組める環境を整えましょう。
失敗しても大丈夫な雰囲気、挑戦につながります。



次の一歩の目安



比較
モード



安心
モード



整理
モード



挑戦
モード

安心が増えると、落ち着きが戻り、整理しやすくなり、自然に挑戦につながります。



焦らなくて大丈夫です。お子さんのペースで、少しずつ変わっていきます。
あなたの関わりが、一番のサポートになります。